

令和元年度広島大学「地域の元気応援プロジェクト」成果報告書

1. プロジェクト(活動)名

音戸ドリームアイランドカレッジフィールド

2. プロジェクトの実施の概要

今年度のプロジェクトでは、事前打ち合わせを含め、合計 6 回の現地訪問・調査を実施した。

まず、9 月 16 日に音戸天仁庵で、NPO 法人アースキューブジャパンの中村代表と全体のプロジェクトの推進計画について打ち合わせを実施した。

採択後の 10 月 30 日には、広島大学呉サテライトで中村代表、赤川顧問、張の 3 人でプロジェクトの方向を決める会議を行った。地域全体を観光資源として捉える「エコミュージアム」の概念で音戸の地域・観光振興を考える方針を決めた。

11 月 4 日には、第一回目現地調査を行った。張、中村、赤川、国際共創学科学生 3 人の合計 6 人で呉市音戸町の 4 地区(早瀬、有清、南・北隠渡)を訪れ、エコミュージアムコンセプトのモデルコースづくりについて考えた。

12 月 19 日には、張が、音戸のしままるごとユニバーシティ中間発表会に参加した。同プロジェクトは中村代表が行っている、機業合宿であり、音戸エコミュージアムについて紹介し、参加者からの意見を聞いた。さらに、2020 年 1 月 11 日には、張が、音戸のしままるごとユニバーシティ最終発表会に参加した。

2 月 9 日には、張、中村、赤川、国際共創学科学生 5 人で、呉市音戸町の 4 地区(田原、引地、南・北隠渡)を対象に第 2 回目調査を行った。具体的には、まずエコミュージアムの中核となる「コア施設」の設定のため、音戸市民センター、うずしお会館などコミュニティー施設を調査した。さらに、「サテライト」の候補として、元呉服屋をレストラン・雑貨屋・アートの空間にした「天仁庵」、オーナーの中下さんの音戸愛が感じられるお好み焼き屋「しんちゃん」、明治時代からの歴史を持つ「榎酒造」を訪れ、オーナーさんへの聞き取りを実施した。

